

## 平成 23 年度地区懇談会(幌別鉄南地区、札内・来馬地区)議事録(概要)

平成 23 年 10 月 26 日(水)鉄南ふれあいセンター 出席者数 60 人

### 事前質問:幌別町・幸町における消防体制について【担当:消防本部総務G】

回答: 消防次長

- ・消火栓や防火水槽は、半径 120m 以内でカバーできるよう消防水利の基準に基づき設置している。幌別町に消火栓 22 基・防火水槽 6 基、幸町に消火栓 9 基・防火水槽 1 基を設置している。
- ・水道本管の関係等により、設置する場所が主に幹線道路になっているのが現状であるが、各消火栓からの取水による対応で、特に支障はないと考えている。
- ・幌別分遣所の消防車は、平成 21 年度までは平成元年 10 月に購入したタンク車を配備していたが、平成 22 年度に神奈川県海老名市からポンプ車 5 台が寄贈されましたので、22 年経過したタンク車に替わりポンプ車を配置している。
- ・踏切遮断時の出動体制は、旅客車・貨物車・上下線にもよりますが、3 分を超える時間帯がある。火災発生の場所にもよるが、ときめき橋からの迂回や幌別学校通りから幌別町・幸町へ出動することも考慮し対応している。

### 事前質問:鉄南地区の活性化について(空き公営住宅への入居促進策について)【担当:建築住宅G】

回答: 都市整備部長

- ・公営住宅の空き家状況は、9 月 15 日現在、幌別東団地が 47 件、美浜団地が 9 件となっており、幌別東団地の空き家の大半が 3 階 4 階である。
- ・幌別東団地は、その多くが建設後 30 年を超え、これまで外壁や屋根の大規模改修や道路排水整備、バリアフリー化を実施するなど環境整備に努めてきた。
- ・便利で良質な住宅を求める志向により、古い設備の住宅で 3 階以上の住宅は入居希望者が少なく、これまで公募しても応募者がいない状況もあり、空き家を解消することができない状況が続いている。
- ・空き家の多くは劣化がひどく、修繕費が多額であり、予算面から全ての空き家について早期募集することは困難な状況。
- ・現段階では、建て替えや大規模な住環境整備を行うことは非常に難しい。今後とも、厳しい財政状況の中で可能な限り戸別修繕を行いながら、空き家の解消に努めていく。
- ・公営住宅入居世帯のうち 60 歳以上は幌別東団地 53.6%、美浜団地 60%などとなっている。幌別鉄南地区の公営住宅は高齢者の比率が高い。現在、幌別東団地のような大きな団地で入居者の特性を団地別・棟別に調査している。調査結果や入居者の意見を参考に、子育て世代・高齢者以外の世代など多様な世代が混在して暮らすことができるか検討していきたい。

意見:

- ・団地の年齢層・高齢化率が高いのであれば、子育て世代の優先入居は可能か。

回答: 都市整備部長

- ・入居は抽選としている。世代をバランス良く配置することが課題と思うが、どういう方法が良いか検討したい。

意見:

- ・協働を前提にしても良いが、市は、幌別鉄南地区の活性化に向けた構想を考えているのか。

回答: 次の『地域とともに描くまちづくり』にて回答

### 情報提供:地域とともに描くまちづくり

説明: 市長

- ・市の事業は、部単位で構想を練り地区に話を持っていくと温度差が出てきた。地区別・エリアベース単

位で、住民の話を取り入れる方が早く構想を練り上げられると判断し、今回のペーパーを作ってみました。

- ・ペーパーの例として、大雑把に4つの視点で考えてみた。個々の事案として、道路のバリアフリー化、買い物・通院支援、交流の森、市民プールの周辺環境、老朽家屋、空き家・空き地の活用、緑化などがあると思う。
- ・地区的には、幌別鉄南と札内・来馬、別々に考えてもらってかまわない。
- ・皆さんには、このペーパー例を基に11月下旬に意見集約して頂いて、皆さんからもらった意見と市の考えをぶつける場を11月下旬以降設けたい。
- ・年内に解決できるものは解決し、又は平成24年度事業に入れたい。地区でいつまで集約できるか町内会にアンケートを取りたい。
- ・昨年同様の会議をやろうとしたが結局曖昧になったので、今度は私（市長）が直接行ってやりたい。毎月会議のペースででもやりたい。

#### 地区連合町内会：

- ・11月までに考えるのはスケジュール的に無理。
- ・提案してどうするのか。実行できなければしょうがない。これでは受けられない。どう推進するのか。案をつくってどうするかも考えて、行政側とどう構築して進めるか、きちっと明確にした上で、各町内会から各分野の人に検討してもらう必要がある。
- ・話し合いは3月までかかると思う。各単位町内会とも相談する。

#### 事前質問:国道36号線沿道の廃材・廃屋の環境整備について〔担当:管理G〕

回答：都市整備部長

- ・幌別鉄南地区の海浜地に放置された資材や廃屋が景観上・防犯上好ましくないことから、これまでも海岸管理者である道や市の関係部局と協議を行ってきたが、今年3月27日に地元町内会の方々と、市関係部局の職員、室蘭建設管理部登別出張所の職員と協働で、幌別1号公園周辺の不法投棄物の撤去を行い、一部ではあるが整理できたところ。
- ・不法占有物等の撤去は、基本的に土地を管理している道が処理することとなるが、景観の向上や生活環境の改善の観点から、市が積極的に関わらざるべきと考えている。そのために市は何ができるかなど、関係部局と検討していきたい。
- ・また、早急に解決すべきものと認識しているので、物件の所有者が取り壊す意思があっても費用がない場合など、市の税金投入も含めて、行政が行える範囲を市の顧問弁護士に相談するなど解決に向けて検討していきたい。

意見：

- ・毎年要望しているが回答はいつも同じ。今日、また廃材が捨てられた。これが10年も続いている。
- ・幌別鉄南地区には、他に火事の廃屋や木材の放置もあり、同じ状態。やるかやらないか教えてほしい。

回答：都市整備部長

- ・法的な問題を検討しながら、市も一歩前に踏み出したい。

回答：市長

- ・来年やりたい気持ちはある。法の壁を乗り越える準備をしている。行政代執行の実施を目標に作業をする。
- ・進捗状況の皆さんへの伝達の頻度も上げていきたい。

#### 事前質問:老人憩の家『すずらんの家』の前にある産業廃棄物について〔担当:環境対策G〕

回答：市民生活部長

- ・平成18年度の地区懇談会で要望があり、当時の市担当者が胆振支庁廃棄物担当者とともに、廃棄物の排出者と面談し改善指導を行ったが、現在まで処理されていない状況である。

- ・ 今月 20 日、廃棄物の排出者と胆振総合振興局産業廃棄物担当者、市担当者と再度現地で面談を行ったところ、廃棄物の撤去の意志を示した。
- ・ まずは、タイヤ、工事看板、木材などの整理整頓などの美観回復から年内に着手し、徐々に産業廃棄物の撤去をしていきたいとのこと。
- ・ 必要に応じ、胆振総合振興局による文書の指導勧告をするとともに、廃棄物の排出者からは、廃棄物の処理に関する事業計画書の提出を求めることとなっている。
- ・ 産業廃棄物は、道所管の業務となっているので、今後とも道と連携しながら、指導の強化に努めていきたいと考えている。

#### その他:鉄南ふれあいセンター敷地の松の木について【担当:社会福祉G】

##### 意見:

- ・ 枯れている松の除去を要望している。もし死んでいるのなら撤去してほしい。
- ・ 業者の責任や補償はどうなっているか。

##### 回答:保健福祉部長

- ・ 松の木が生きているか様子を見ている状況。電線や歩道の支障になっていたので枝払いした経緯がある。

#### その他:生活保護について【担当:社会福祉G】

##### 意見:

- ・ 保護受給者が亡くなったときの葬儀がこれから増えてくる。市からどんなときに葬祭扶助が出るのか、各町内会長とも知りたがっている。
- ・ もし葬儀の収支が赤字になったら困るので、会長に文書を配布してもらえないか。

##### 回答:保健福祉部長

- ・ 葬祭扶助には遺留品や香典を優先的に充当する。無ければ約 20 万円以内で支給するが、約 20 万円以内におさまるかの範囲で香典を充当する。
- ・ 世帯毎に状況が異なるので一概には言えないが、法の趣旨に則って説明している。文書は、制度に複雑なところがあるので考えたい。

#### その他:防犯カメラの設置について【担当:市民サービスG】

##### 意見:

- ・ JR 幌別駅自由通路の器物損壊や白老町の神社のさい銭泥棒など、近頃犯罪が多い。
- ・ こういった場所に防犯カメラを設置することへの市の考えは。

##### 回答:市長

- ・ この界隈の危険は否定できない。以前は犯人逮捕のため防犯カメラを設置してはどうかと考えていたが、最近では犯罪の未然防止に考えが変わってきた。
- ・ 『地域とともに描くまちづくり』の中で防犯についても地域で話し合ってもらいたい。防犯啓発も大切。